

令和3年度南海トラフ地震に関する県民防災意識調査 調査概要

	基本編（問1～問13）			備え編（問1～問10）		
	県政インターネットモニター 調査 第12回 調査期間 : R3.10.22～R3.11.4	インターネット調査 調査期間 : R3.12.15～R4.1.28	合計	県政インターネットモニター 調査 第13回 調査期間 : R3.11.8～R3.11.21	インターネット調査 調査期間 : R3.12.15～R4.1.28	合計
モニター数	767	—		767	—	
回答数	644	598	<u>1,242</u>	650	305	<u>955</u>
回答率	84.0%	—		84.7%	—	

基本編 標本構成

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：1242人			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	568	45.7%
	女性	667	53.7%
	その他	7	0.6%
年代	10代	17	1.4%
	20代	50	4.0%
	30代	183	14.7%
	40代	293	23.6%
	50代	326	26.2%
	60代	200	16.1%
	70代	142	11.4%
	80代	31	2.5%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	153	12.3%
	東部	576	46.4%
	中部	282	22.7%
	西部	231	18.6%
職業	自営業	86	6.9%
	会社員	391	31.5%
	公務員	104	8.4%
	パート・内職従事者	220	17.7%
	学生	28	2.3%
	無職	342	27.5%
	その他	71	5.7%

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：644人（回答率：84.0%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	293	45.5%
	女性	349	54.2%
	その他	2	0.3%
年代	10代	7	1.1%
	20代	15	2.3%
	30代	83	12.9%
	40代	147	22.8%
	50代	163	25.3%
	60代	113	17.5%
	70代	93	14.4%
	80代	23	3.6%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	8	1.2%
	東部	200	31.1%
	中部	231	35.9%
	西部	205	31.8%
職業	自営業	35	5.4%
	会社員	216	33.5%
	公務員	13	2.0%
	パート・内職従事者	121	18.8%
	学生	14	2.2%
	無職	213	33.1%
	その他	32	5.0%

インターネット調査

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：598人			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	275	46.0%
	女性	318	53.2%
	その他	5	0.8%
年代	10代	10	1.7%
	20代	35	5.9%
	30代	100	16.7%
	40代	146	24.4%
	50代	163	27.3%
	60代	87	14.5%
	70代	49	8.2%
	80代	8	1.3%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	145	24.2%
	東部	376	62.9%
	中部	51	8.5%
	西部	26	4.3%
職業	自営業	51	8.5%
	会社員	175	29.3%
	公務員	91	15.2%
	パート・内職従事者	99	16.6%
	学生	14	2.3%
	無職	129	21.6%
	その他	39	6.5%

問1 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。(複数回答可)

基本編

問1 (複数回答可)	n=1242	人	%
1 未就学児		126	10.1%
2 小学生		124	10.0%
3 中高生		143	11.5%
4 日常生活に介護を必要とする方		36	2.9%
5 妊産婦		11	0.9%
6 65歳以上の方		409	32.9%
7 上記1～6に該当する方はいない		410	33.0%

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

問1 (複数回答可)	n=644	人	%
1 未就学児		86	13.4%
2 小学生		96	14.9%
3 中高生		104	16.1%
4 日常生活に介護を必要とする方		27	4.2%
5 妊産婦		7	1.1%
6 65歳以上の方		264	41.0%
7 上記1～6に該当する方はいない		194	30.1%

インターネット調査

問1 (複数回答可)	n=598	人	%
1 未就学児		40	6.7%
2 小学生		28	4.7%
3 中高生		39	6.5%
4 日常生活に介護を必要とする方		9	1.5%
5 妊産婦		4	0.7%
6 65歳以上の方		145	24.2%
7 上記1～6に該当する方はいない		216	36.1%

問2 あなたのご自宅は津波浸水想定区域内ですか。それとも区域外ですか。ご不明な方は、市町の防災マップ、又は、以下のLINKで津波浸水想定区域を確認することができます。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問2（複数回答可）	n = 1242	人	%
1 区域内		188	15.1%
2 区域外		981	79.0%
3 わからない		73	5.9%

問2（回答数1）	n = 644	人	%
1 区域内		107	16.6%
2 区域外		476	73.9%
3 わからない		61	9.5%

問2（複数回答可）	n = 598	人	%
1 区域内		81	13.5%
2 区域外		505	84.4%
3 わからない		12	2.0%

問3 あなたは現在、南海トラフ地震にどの程度の関心を持っていますか。（回答数は1つ）

※「南海トラフ地震」は、関東地方から九州地方の広い範囲で強い揺れが発生し、静岡県内でも震度6弱から6強、一部では震度7となる可能性があります。また沿岸部では、3mを超える大津波が各地で発生し、一部では、20mを超える予想もされています。

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問3（回答数1）	n=1242	人	%
1 非常に関心がある		783	63.0%
2 多少関心がある		406	32.7%
3 あまり関心はない		42	3.4%
4 全く関心がない		11	0.9%

問3（回答数1）	n=644	人	%
1 非常に関心がある		370	57.5%
2 多少関心がある		236	36.6%
3 あまり関心はない		28	4.3%
4 全く関心がない		10	1.6%

問3（回答数1）	n=598	人	%
1 非常に関心がある		413	69.1%
2 多少関心がある		170	28.4%
3 あまり関心はない		14	2.3%
4 全く関心がない		1	0.2%

問4 あなたは、南海トラフ地震が起きた場合、どのようなことが心配ですか。（複数回答可）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問4（複数回答可）	n = 1242	人	%
1 津波、堤防の決壊		601	48.4%
2 土砂崩れ、崖崩れ		439	35.3%
3 地割れ、陥没		421	33.9%
4 建物（自宅を含む）の倒壊		1001	80.6%
5 火災の発生		726	58.5%
6 液状化現象		323	26.0%
7 タンス・冷蔵庫などの家具類の転倒		565	45.5%
8 家族の安否確認		837	67.4%
9 近くに避難場所がないこと		79	6.4%
10 避難所での生活		666	53.6%
11 食料や飲料水の確保		777	62.6%
12 日用品の不足		609	49.0%
13 ガソリン・灯油などの燃料不足		560	45.1%
14 電気、水道、ガスの供給停止		840	67.6%
15 外出先・勤務先からの帰宅		418	33.7%
16 外出先での避難場所		327	26.3%
17 ガスなどの危険物の爆発		281	22.6%
18 原子力発電所事故		337	27.1%
19 治安の悪化		369	29.7%
20 心配なことはない		4	0.3%
21 その他		64	5.2%

問4（複数回答可）	n = 644	人	%
1 津波、堤防の決壊		322	50.0%
2 土砂崩れ、崖崩れ		178	27.6%
3 地割れ、陥没		206	32.0%
4 建物（自宅を含む）の倒壊		504	78.3%
5 火災の発生		345	53.6%
6 液状化現象		189	29.3%
7 タンス・冷蔵庫などの家具類の転倒		277	43.0%
8 家族の安否確認		371	57.6%
9 近くに避難場所がないこと		38	5.9%
10 避難所での生活		326	50.6%
11 食料や飲料水の確保		371	57.6%
12 日用品の不足		279	43.3%
13 ガソリン・灯油などの燃料不足		250	38.8%
14 電気、水道、ガスの供給停止		399	62.0%
15 外出先・勤務先からの帰宅		176	27.3%
16 外出先での避難場所		138	21.4%
17 ガスなどの危険物の爆発		141	21.9%
18 原子力発電所事故		210	32.6%
19 治安の悪化		198	30.7%
20 心配なことはない		3	0.5%
21 その他		20	3.1%

問4（複数回答可）	n = 598	人	%
1 津波、堤防の決壊		279	46.7%
2 土砂崩れ、崖崩れ		261	43.6%
3 地割れ、陥没		215	36.0%
4 建物（自宅を含む）の倒壊		497	83.1%
5 火災の発生		381	63.7%
6 液状化現象		134	22.4%
7 タンス・冷蔵庫などの家具類の転倒		288	48.2%
8 家族の安否確認		466	77.9%
9 近くに避難場所がないこと		41	6.9%
10 避難所での生活		340	56.9%
11 食料や飲料水の確保		406	67.9%
12 日用品の不足		330	55.2%
13 ガソリン・灯油などの燃料不足		310	51.8%
14 電気、水道、ガスの供給停止		441	73.7%
15 外出先・勤務先からの帰宅		242	40.5%
16 外出先での避難場所		189	31.6%
17 ガスなどの危険物の爆発		140	23.4%
18 原子力発電所事故		127	21.2%
19 治安の悪化		171	28.6%
20 心配なことはない		1	0.2%
21 その他		44	7.4%

問5 日頃、大雨警報や避難情報など緊急時の防災情報を主にどのような手段で入手していますか。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問5（回答数1）	n=1242	人	%
1 インターネット		370	29.8%
2 市町の防災メール		255	20.5%
3 テレビ		274	22.1%
4 ラジオ		34	2.7%
5 防災アプリ		146	11.8%
6 SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE、インスタグラムなど）		78	6.3%
7 市町の同報無線による放送（こちらは広報〇〇です で始まる放送）		81	6.5%
8 その他		4	0.3%

問5（回答数1）	n=644	人	%
1 インターネット		216	33.5%
2 市町の防災メール		113	17.5%
3 テレビ		169	26.2%
4 ラジオ		26	4.0%
5 防災アプリ		57	8.9%
6 SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE、インスタグラムなど）		29	4.5%
7 市町の同報無線による放送（こちらは広報〇〇です で始まる放送）		30	4.7%
8 その他		4	0.6%

問5（回答数1）	n=598	人	%
1 インターネット		154	25.8%
2 市町の防災メール		142	23.7%
3 テレビ		105	17.6%
4 ラジオ		8	1.3%
5 防災アプリ		89	14.9%
6 SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE、インスタグラムなど）		49	8.2%
7 市町の同報無線による放送（こちらは広報〇〇です で始まる放送）		51	8.5%
8 その他		0	0.0%

問6 以下の【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、あなたは身を守ることができますか。（回答数は1つ）
 【前提条件】突然、震度6強以上の地震（立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。）が起きた場合を想像してお答えください。

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
 モニターアンケート

インターネット調査

問6（回答数1）	n=1242	人	%
1 無事だと思う		122	9.8%
2 軽いけががぐらいはするかもしれない		542	43.6%
3 大けがをする危険性があると思う		308	24.8%
4 死ぬ恐れもあると思う		270	21.7%

問6（回答数1）	n=644	人	%
1 無事だと思う		72	11.2%
2 軽いけががぐらいはするかもしれない		284	44.1%
3 大けがをする危険性があると思う		158	24.5%
4 死ぬ恐れもあると思う		130	20.2%

問6（回答数1）	n=598	人	%
1 無事だと思う		50	8.4%
2 軽いけががぐらいはするかもしれない		258	43.1%
3 大けがをする危険性があると思う		150	25.1%
4 死ぬ恐れもあると思う		140	23.4%

問7 津波に対する行動について伺います。浸水想定区域にお住まいの方は自宅や自宅周辺で地震にあった場合を想定してください。それ以外の方は沿岸部を訪れていて地震にあった場合を想定してください。

【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、あなたはどのように行動しますか。(回答数は1つ)

【前提条件】突然、震度6強以上の地震(立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。)が起きた場合を想像してお答えください。

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問7 (回答数1)	n=1242	人	%
1 揺れが収まったら直ちに津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		647	52.1%
2 津波警報の発表を見聞きしてから津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		286	23.0%
3 周りの人が避難している姿を見たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		79	6.4%
4 海の水が引いているのを見たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		16	1.3%
5 沖合に高い波が見えたら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		8	0.6%
6 足下に水が来たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		0	0.0%
7 自宅の高い場所へ避難する		134	10.8%
8 どのように行動したらよいかわからない		46	3.7%
9 その他		26	2.1%

問7 (回答数1)	n=644	人	%
1 揺れが収まったら直ちに津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		297	46.1%
2 津波警報の発表を見聞きしてから津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		140	21.7%
3 周りの人が避難している姿を見たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		50	7.8%
4 海の水が引いているのを見たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		11	1.7%
5 沖合に高い波が見えたら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		5	0.8%
6 足下に水が来たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		0	0.0%
7 自宅の高い場所へ避難する		92	14.3%
8 どのように行動したらよいかわからない		32	5.0%
9 その他		17	2.6%

問7 (回答数1)	n=598	人	%
1 揺れが収まったら直ちに津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		350	58.5%
2 津波警報の発表を見聞きしてから津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		146	24.4%
3 周りの人が避難している姿を見たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		29	4.8%
4 海の水が引いているのを見たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		5	0.8%
5 沖合に高い波が見えたら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		3	0.5%
6 足下に水が来たら津波避難ビル、津波避難タワー 命山などに避難する		0	0.0%
7 自宅の高い場所へ避難する		42	7.0%
8 どのように行動したらよいかわからない		14	2.3%
9 その他		9	1.5%

問8 【前提条件】のような大きな地震が起きた場合、救助・救急活動などの応急活動を迅速かつ円滑に行う必要があります。公共交通機関が運行を停止することも考えられる中、外出先や勤務先から一斉に帰宅を始めると、緊急車両の通行を妨げ、応急活動に支障をきたすことが懸念されます。そのため、外出先や勤務先にいる時に【前提条件】にあるような大きな地震が起きた場合は、「むやみに移動を開始しない」ことが原則です。

あなたは、この原則を知っていましたか。（回答数は1つ）

【前提条件】突然、震度6強以上の地震（立っていることが困難な揺れ。家の中では固定していない家具類はほとんど倒れる。）が起きた場合を想像してお答えください。

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問8（回答数1）	n=1242	人	%
1 知っていた		560	45.1%
2 知らなかった		682	54.9%

問8（回答数1）	n=644	人	%
1 知っていた		268	41.6%
2 知らなかった		376	58.4%

問8（回答数1）	n=598	人	%
1 知っていた		292	48.8%
2 知らなかった		306	51.2%

問9 災害が発生したときの避難のため、市町はあらかじめ緊急避難場所や避難所を指定しています。また、緊急避難場所には災害種別ごとに指定があります。あなたは知っていますか。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問9（回答数1）	n = 1242	人	%
1 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知っていて場所も知っている		484	39.0%
2 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知っているが場所は知らない		270	21.7%
3 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知らなかった		488	39.3%

問9（回答数1）	n = 644	人	%
1 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知っていて場所も知っている		214	33.2%
2 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知っているが場所は知らない		166	25.8%
3 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知らなかった		264	41.0%

問9（回答数1）	n = 598	人	%
1 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知っていて場所も知っている		270	45.2%
2 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知っているが場所は知らない		104	17.4%
3 災害種別ごとに緊急避難場所や避難所があることを知らなかった		224	37.5%

問10-1 災害発生後、一定期間避難が必要となった場合に、避難先として選択する可能性が高いものを教えてください。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問10（回答数1）	n=1242	人	%
1 市町が指定した避難所		793	63.8%
2 親戚、知人宅		155	12.5%
3 自動車内		171	13.8%
4 ホテル・旅館等		67	5.4%
5 その他		56	4.5%

問10（回答数1）	n=644	人	%
1 市町が指定した避難所		430	66.8%
2 親戚、知人宅		76	11.8%
3 自動車内		77	12.0%
4 ホテル・旅館等		39	6.1%
5 その他		22	3.4%

問10（回答数1）	n=598	人	%
1 市町が指定した避難所		363	60.7%
2 親戚、知人宅		79	13.2%
3 自動車内		94	15.7%
4 ホテル・旅館等		28	4.7%
5 その他		34	5.7%

問10-2 問10-1の避難先を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

基本編

問10-2 (複数回答可)	n = 1242	人	%
1 支援物資が手に入りやすいから		713	57.4%
2 自宅の耐震性がないから		167	13.4%
3 プライバシーを確保したいから		304	24.5%
4 周りに迷惑をかけるから		191	15.4%
5 自宅周辺は危険だと思われるから		171	13.8%
6 その他		151	12.2%

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

問10-2 (複数回答可)	n = 644	人	%
1 支援物資が手に入りやすいから		392	60.9%
2 自宅の耐震性がないから		93	14.4%
3 プライバシーを確保したいから		156	24.2%
4 周りに迷惑をかけるから		111	17.2%
5 自宅周辺は危険だと思われるから		78	12.1%
6 その他		53	8.2%

インターネット調査

問10-2 (複数回答可)	n = 598	人	%
1 支援物資が手に入りやすいから		321	53.7%
2 自宅の耐震性がないから		74	12.4%
3 プライバシーを確保したいから		148	24.7%
4 周りに迷惑をかけるから		80	13.4%
5 自宅周辺は危険だと思われるから		93	15.6%
6 その他		98	16.4%

問11 避難所で一定期間避難生活を送る場合、避難所利用者が主体となって避難所運営を行うことを知っていますか。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問11（回答数1）	n = 1242	人	%
1 知っている		672	54.1%
2 知らなかった		570	45.9%

問11（回答数1）	n = 644	人	%
1 知っている		302	46.9%
2 知らなかった		342	53.1%

問11（回答数1）	n = 598	人	%
1 知っている		370	61.9%
2 知らなかった		228	38.1%

問12 地震が起きた際に、離れている家族と安否を確認する手段として何を使うことを考えていますか。(複数回答可)

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問12 (複数回答可)	n = 1242	人	%
1 Eメール (携帯電話、スマートフォン)		708	57.0%
2 電話		511	41.1%
3 LINE、Messenger、インターネットのアプリを利用する		839	67.6%
4 災害用伝言ダイヤル「171」 (音声による伝言板)		521	41.9%
5 メールサービス「災害伝言板」 (携帯電話、スマートフォン)		300	24.2%
6 共通の集合場所などを決めているので連絡を取らない		36	2.9%
7 特に考えていない		44	3.5%
8 その他		14	1.1%

問12 (複数回答可)	n = 644	人	%
1 Eメール (携帯電話、スマートフォン)		397	61.6%
2 電話		290	45.0%
3 LINE、Messenger、インターネットのアプリを利用する		404	62.7%
4 災害用伝言ダイヤル「171」 (音声による伝言板)		225	34.9%
5 メールサービス「災害伝言板」 (携帯電話、スマートフォン)		137	21.3%
6 共通の集合場所などを決めているので連絡を取らない		15	2.3%
7 特に考えていない		24	3.7%
8 その他		5	0.8%

問12 (複数回答可)	n = 598	人	%
1 Eメール (携帯電話、スマートフォン)		311	52.0%
2 電話		221	37.0%
3 LINE、Messenger、インターネットのアプリを利用する		435	72.7%
4 災害用伝言ダイヤル「171」 (音声による伝言板)		296	49.5%
5 メールサービス「災害伝言板」 (携帯電話、スマートフォン)		163	27.3%
6 共通の集合場所などを決めているので連絡を取らない		21	3.5%
7 特に考えていない		20	3.3%
8 その他		9	1.5%

問13 「南海トラフ地震臨時情報」について知っていますか。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問13（回答数1）	n=1242	人	%
1 知っている（内容を概ね理解している）		328	26.4%
2 聞いたことはあるが内容は知らない		448	36.1%
3 聞いたことがない		466	37.5%

問13（回答数1）	n=644	人	%
1 知っている（内容を概ね理解している）		143	22.2%
2 聞いたことはあるが内容は知らない		247	38.4%
3 聞いたことがない		254	39.4%

問13（回答数1）	n=598	人	%
1 知っている（内容を概ね理解している）		185	30.9%
2 聞いたことはあるが内容は知らない		201	33.6%
3 聞いたことがない		212	35.5%

追加アンケート（モニターなし）
災害の危険度を示した地図（ハザードマップなど）で自宅を確認したことがある。（回答数は1つ）

基本編

令和3年度第12回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問追加（回答数1）	n = 598	人	%
1 確認したことがある		533	89.1%
2 確認したことがない		65	10.9%

問追加（回答数1）	n = 644	人	%

問追加（回答数1）	n = 598	人	%
1 確認したことがある		533	89.1%
2 確認したことがない		65	10.9%

備え編 標本構成

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：955人			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	440	46.1%
	女性	513	53.7%
	その他	2	0.2%
年代	10代	16	1.7%
	20代	49	5.1%
	30代	138	14.5%
	40代	222	23.2%
	50代	252	26.4%
	60代	147	15.4%
	70代	102	10.7%
	80代	29	3.0%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	74	7.7%
	東部	399	41.8%
	中部	266	27.9%
	西部	216	22.6%
職業	自営業	65	6.8%
	会社員	309	32.4%
	公務員	65	6.8%
	パート・内職従事者	168	17.6%
	学生	26	2.7%
	無職	270	28.3%
	その他	52	5.4%

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：650人（回答率：84.7%）			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	294	45.2%
	女性	355	54.6%
	その他	1	0.2%
年代	10代	10	1.5%
	20代	23	3.5%
	30代	83	12.8%
	40代	146	22.5%
	50代	167	25.7%
	60代	110	16.9%
	70代	87	13.4%
	80代	24	3.7%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	8	1.2%
	東部	206	31.7%
	中部	236	36.3%
	西部	200	30.8%
職業	自営業	42	6.5%
	会社員	221	34.0%
	公務員	13	2.0%
	パート・内職従事者	125	19.2%
	学生	17	2.6%
	無職	203	31.2%
	その他	29	4.5%

インターネット調査

※表の中の「n」は、各設問の回答者総数を示す。

回答者数：305人			
	カテゴリー名	回答者数	%
性別	男性	146	47.9%
	女性	158	51.8%
	その他	1	0.3%
年代	10代	6	2.0%
	20代	26	8.5%
	30代	55	18.0%
	40代	76	24.9%
	50代	85	27.9%
	60代	37	12.1%
	70代	15	4.9%
	80代	5	1.6%
	90代	0	0.0%
住所	賀茂	66	21.6%
	東部	193	63.3%
	中部	30	9.8%
	西部	16	5.2%
職業	自営業	23	7.5%
	会社員	88	28.9%
	公務員	52	17.0%
	パート・内職従事者	43	14.1%
	学生	9	3.0%
	無職	67	22.0%
	その他	23	7.5%

問1 同居されている方のうち、次に該当する方がいますか。(複数回答可)

備え欄

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問1 (複数回答可)	n = 955	人	%
1 未就学児		130	13.6%
2 小学生		145	15.2%
3 中高生		153	16.0%
4 日常生活に介護を必要とする方		53	5.5%
5 妊産婦		11	1.2%
6 65歳以上の方		372	39.0%
7 上記1～6に該当する方はいない		298	31.2%

問1 (複数回答可)	n = 650	人	%
1 未就学児		85	13.1%
2 小学生		95	14.6%
3 中高生		106	16.3%
4 日常生活に介護を必要とする方		34	5.2%
5 妊産婦		7	1.1%
6 65歳以上の方		269	41.4%
7 上記1～6に該当する方はいない		191	29.4%

問1 (複数回答可)	n = 305	人	%
1 未就学児		45	14.8%
2 小学生		50	16.4%
3 中高生		47	15.4%
4 日常生活に介護を必要とする方		19	6.2%
5 妊産婦		4	1.3%
6 65歳以上の方		103	33.8%
7 上記1～6に該当する方はいない		107	35.1%

問2 南海トラフ巨大地震のような大規模災害時には、公的な支援物資がすぐに届かず、また、スーパー・コンビニなどの食料品や日用品がすぐ品切れになることも予想されます。このため、各家庭において水や食料を備蓄することが重要です。
 日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の食料は概ね何日分ありますか。ご家族ひとりあたり1日3食として計算してください。（回答数は1つ）

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
 モニターアンケート

インターネット調査

問2（回答数1）	n=955	人	%
1 1～3日分		528	55.3%
2 4～6日分		230	24.1%
3 7日以上		70	7.3%
4 なし		95	9.9%
5 わからない		32	3.4%

問2（回答数1）	n=650	人	%
1 1～3日分		368	56.6%
2 4～6日分		142	21.8%
3 7日以上		44	6.8%
4 なし		71	10.9%
5 わからない		25	3.8%

問2（回答数1）	n=305	人	%
1 1～3日分		160	52.5%
2 4～6日分		88	28.9%
3 7日以上		26	8.5%
4 なし		24	7.9%
5 わからない		7	2.3%

問3 日頃の備えとして、あなたのお宅では、家族全員分の飲料水は何日分ありますか。ご家族ひとりあたり1日3リットルで計算してください。（回答数は1つ）

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問3（回答数1）	n=955	人	%
1 1～3日分		503	52.7%
2 4～6日分		219	22.9%
3 7日以上		90	9.4%
4 なし		121	12.7%
5 わからない		22	2.3%

問3（回答数1）	n=650	人	%
1 1～3日分		352	54.2%
2 4～6日分		148	22.8%
3 7日以上		52	8.0%
4 なし		79	12.2%
5 わからない		19	2.9%

問3（回答数1）	n=305	人	%
1 1～3日分		151	49.5%
2 4～6日分		71	23.3%
3 7日以上		38	12.5%
4 なし		42	13.8%
5 わからない		3	1.0%

問4 水や食料を備蓄する際、ローリングストックという備蓄方法がありますが知っていましたか。(回答数は1つ)
 ※ローリングストック法は日常的に非常食を食べて、食べたら買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食を備蓄する方法です。
 災害時の水・食料を確保する方法として家庭で工夫していることを教えてください。
 例：家庭菜園を行っている。キャンプ等野外活動を通して調理技術を身につけたり、機材を準備している。

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
 モニターアンケート

インターネット調査

問4 (回答数1)	n=955	人	%
1 知っている		799	83.7%
2 知らなかった		156	16.3%

問4 (回答数1)	n=650	人	%
1 知っている		535	82.3%
2 知らなかった		115	17.7%

問4 (回答数1)	n=305	人	%
1 知っている		264	86.6%
2 知らなかった		41	13.4%

[家庭の工夫] (抜粋)

家庭菜園をしている。近くの湧水をいつも利用している。缶詰の保存

家庭菜園がある LPガス用の発電機がある

野外料理や災害時に役立つ料理方法を勉強した。

また家庭菜園もやっています

夏場はブレンダーで家庭菜園を行っている。また、火を通す(調理)の必要がある場合でも対応できるよう、炭と七輪、卓上ガスコンロ、灯油ストーブを備えている。

キャンプ等野外活動を通して調理技術を身につけたり、機材を準備している。

日持ちするものは、買い置きをしておく

水道水をペットボトルに入れて床下収納と冷凍庫に保管している。

家庭菜園を行なっている。野外調理、薪ストーブでの調理も日常的に行なっている。釣りを趣味にしている。

保存のきく食品を購入している。食べられる野草を調べてジャムなどに加工している。

災害時用の水や食料を置いてあるが、普段使用の水や食料も常に買っては使い、買い足している。キャンプにも行き、道具も揃っている。

直火調理ができるように薪を備蓄している。

家庭菜園をしている

冷蔵庫や冷凍庫にも備蓄している

キャンプ

蓄電池を冷蔵庫、冷凍庫(単体)につないでおり、災害時にも腐敗しないのでしばらく食べられる ガスボンベを多めに備蓄し、調理に使用できるポリ袋も常備している

水、保存食品の備蓄と入れ替えに気をつけている。

防災用のリュックに詰めている程度

屋外の薪ストーブや薪等を備蓄している。

お風呂の残り湯は捨てない。空いたペットボトルに水を入れてトイレ用にストックしている。

米の備蓄、家庭菜園、カセットコンロの常備、ウォーターサーバーの利用など。

近くの水のみ場で定期的に水を汲んで使っている。保存食は日常的に食べながらも切らさないようにしている。

保存のきく食品をストックしている

キャンプをする為、車内には常に野外生活ができるだけの設備があり、必要に応じて野外での調理も可能な技術を有している。

日持ちする缶詰やカンパンをストックしています

保存すべき物品と量がよく解らないから。

常時車にペットボトルの水分がある

防災グッズを庭の倉庫に入れたり

防災リュックを作って部屋に置いたりしている。

スーパーで買いだめしている

問5 大規模地震が発生すると、水洗トイレが使用できなくなる恐れがあります。あなたのお宅では、概ね何日分の携帯トイレ・簡易トイレを備蓄していますか。ご家族ひとりあたり1日5回分として計算してください。(回答数は1つ)

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問5 (回答数1)	n=955	人	%
1 1～3日分を備蓄している		326	34.1%
2 4～6日分を備蓄している		84	8.8%
3 7日以上を備蓄している		54	5.7%
4 自宅のトイレが使えると思うので備蓄していない		108	11.3%
5 必要性を考えていなかったので備蓄していない		309	32.4%
6 その他		74	7.7%

問5 (回答数1)	n=650	人	%
1 1～3日分を備蓄している		226	34.8%
2 4～6日分を備蓄している		54	8.3%
3 7日以上を備蓄している		28	4.3%
4 自宅のトイレが使えると思うので備蓄していない		70	10.8%
5 必要性を考えていなかったので備蓄していない		226	34.8%
6 その他		46	7.1%

問5 (回答数1)	n=305	人	%
1 1～3日分を備蓄している		100	32.8%
2 4～6日分を備蓄している		30	9.8%
3 7日以上を備蓄している		26	8.5%
4 自宅のトイレが使えると思うので備蓄していない		38	12.5%
5 必要性を考えていなかったので備蓄していない		83	27.2%
6 その他		28	9.2%

問6-1 大地震による被害の有無は、家の耐震化だけではなく、家具の固定の状況に大きく影響されます。1995年の阪神・淡路大震災では、死亡者6,434人の10%、負傷者43,792人の46%が家具の転倒によるものです。（死亡者数、負傷者数は平成17年12月22現在のものです。（消防庁調べ））あなたのお宅では、地震に備えて家具類の固定をしていますか。（回答数は1つ）

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問6（回答数1）	n=955	人	%
1 大部分固定している		256	26.8%
2 一部固定している		464	48.6%
3 固定していない		235	24.6%

問6（回答数1）	n=650	人	%
1 大部分固定している		179	27.5%
2 一部固定している		305	46.9%
3 固定していない		166	25.5%

問6（回答数1）	n=305	人	%
1 大部分固定している		77	25.2%
2 一部固定している		159	52.1%
3 固定していない		69	22.6%

問6-2 固定していない家具があるのはどのような理由からですか。(複数回答可)

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問6-2 (複数回答可)	n=955	人	%
1 建物や家具を傷めるから		127	13.3%
2 手間がかかるから		221	23.1%
3 費用がかかるから		154	16.1%
4 家具類を置いていない安全な部屋があるから		112	11.7%
5 固定をしても被害は出ると思うから		79	8.3%
6 転倒・落下・移動しても危険ではないと思うから		72	7.5%
7 借家だから		90	9.4%
8 固定方法がわからないから		67	7.0%
9 部屋の見た目が悪くなるから		44	4.6%
10 タンスなどには下に重い物を、上に軽い物を収納しているから		28	2.9%
11 固定方法がわかっても自分で固定できないと思うから		57	6.0%
12 やろうと思っているが先延ばしにしているから		214	22.4%
13 地震が起きても転倒・落下・移動しないと思うから		17	1.8%
14 南海トラフ地震が起きると思わないから		6	0.6%
15 その他		55	5.8%

問6-2 (複数回答可)	n=471	人	%
1 建物や家具を傷めるから		88	18.7%
2 手間がかかるから		157	33.3%
3 費用がかかるから		110	23.4%
4 家具類を置いていない安全な部屋があるから		72	15.3%
5 固定をしても被害は出ると思うから		52	11.0%
6 転倒・落下・移動しても危険ではないと思うから		47	10.0%
7 借家だから		42	8.9%
8 固定方法がわからないから		56	11.9%
9 部屋の見た目が悪くなるから		31	6.6%
10 タンスなどには下に重い物を、上に軽い物を収納しているから		19	4.0%
11 固定方法がわかっても自分で固定できないと思うから		47	10.0%
12 やろうと思っているが先延ばしにしているから		138	29.3%
13 地震が起きても転倒・落下・移動しないと思うから		12	2.5%
14 南海トラフ地震が起きると思わないから		3	0.6%
15 その他		33	7.0%

問6-2 (複数回答可)	n=305	人	%
1 建物や家具を傷めるから		39	12.8%
2 手間がかかるから		64	21.0%
3 費用がかかるから		44	14.4%
4 家具類を置いていない安全な部屋があるから		40	13.1%
5 固定をしても被害は出ると思うから		27	8.9%
6 転倒・落下・移動しても危険ではないと思うから		25	8.2%
7 借家だから		48	15.7%
8 固定方法がわからないから		11	3.6%
9 部屋の見た目が悪くなるから		13	4.3%
10 タンスなどには下に重い物を、上に軽い物を収納しているから		9	3.0%
11 固定方法がわかっても自分で固定できないと思うから		10	3.3%
12 やろうと思っているが先延ばしにしているから		76	24.9%
13 地震が起きても転倒・落下・移動しないと思うから		5	1.6%
14 南海トラフ地震が起きると思わないから		3	1.0%
15 その他		22	7.2%

問7 次にあげるものの中で、南海トラフ地震に備えて自宅や日常生活で実施している防災対策はありますか。（複数回答可）

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問7（複数回答可）	n = 955	人	%
1 家具を何も置いていない部屋を寝室にしている		304	31.8%
2 ガスを使わないときには元栓を締めるようにしている		150	15.7%
3 火気器具のまわりに燃えやすいものを置かないようにしている		284	29.7%
4 石油ストーブは、耐震自動消火装置付きのものにしている		251	26.3%
5 風呂に水をためるようにしている（残り湯の活用を含む）		259	27.1%
6 消火器や水を入れたバケツなどを用意するようにしている		150	15.7%
7 ガラス飛散防止対策をしている		132	13.8%
8 防災用品（非常持出品を含む）を準備している		472	49.4%
9 棚の上に重いものを置かないようにしている		231	24.2%
10 割れたガラスから足を保護するためにスリッパ、靴などを用意している		228	23.9%
11 防災について家族内で話しあっている		158	16.5%
12 家の中で「とっさ」に逃げる場所を決めている		109	11.4%
13 家族と非常時の連絡方法を決めている		152	15.9%
14 地震の時に避難する場所を決めている		239	25.0%
15 家族が離ればなれになったとき落ち合う場所を決めている		137	14.3%
16 自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認している		119	12.5%
17 幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めている		91	9.5%
18 感震ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している		92	9.6%
19 外出時には、携帯電話等の予備電池を携帯している		143	15.0%
20 防災アプリをダウンロードしている		266	27.9%
21 その他		24	2.5%

問7（複数回答可）	n = 650	人	%
1 家具を何も置いていない部屋を寝室にしている		197	30.3%
2 ガスを使わないときには元栓を締めるようにしている		99	15.2%
3 火気器具のまわりに燃えやすいものを置かないようにしている		182	28.0%
4 石油ストーブは、耐震自動消火装置付きのものにしている		152	23.4%
5 風呂に水をためるようにしている（残り湯の活用を含む）		164	25.2%
6 消火器や水を入れたバケツなどを用意するようにしている		91	14.0%
7 ガラス飛散防止対策をしている		95	14.6%
8 防災用品（非常持出品を含む）を準備している		297	45.7%
9 棚の上に重いものを置かないようにしている		152	23.4%
10 割れたガラスから足を保護するためにスリッパ、靴などを用意している		131	20.2%
11 防災について家族内で話しあっている		85	13.1%
12 家の中で「とっさ」に逃げる場所を決めている		64	9.8%
13 家族と非常時の連絡方法を決めている		94	14.5%
14 地震の時に避難する場所を決めている		135	20.8%
15 家族が離ればなれになったとき落ち合う場所を決めている		80	12.3%
16 自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認している		60	9.2%
17 幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めている		49	7.5%
18 感震ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している		57	8.8%
19 外出時には、携帯電話等の予備電池を携帯している		69	10.6%
20 防災アプリをダウンロードしている		135	20.8%
21 その他		16	2.5%

問7（複数回答可）	n = 305	人	%
1 家具を何も置いていない部屋を寝室にしている		107	35.1%
2 ガスを使わないときには元栓を締めるようにしている		51	16.7%
3 火気器具のまわりに燃えやすいものを置かないようにしている		102	33.4%
4 石油ストーブは、耐震自動消火装置付きのものにしている		99	32.5%
5 風呂に水をためるようにしている（残り湯の活用を含む）		95	31.1%
6 消火器や水を入れたバケツなどを用意するようにしている		59	19.3%
7 ガラス飛散防止対策をしている		37	12.1%
8 防災用品（非常持出品を含む）を準備している		175	57.4%
9 棚の上に重いものを置かないようにしている		79	25.9%
10 割れたガラスから足を保護するためにスリッパ、靴などを用意している		97	31.8%
11 防災について家族内で話しあっている		73	23.9%
12 家の中で「とっさ」に逃げる場所を決めている		45	14.8%
13 家族と非常時の連絡方法を決めている		58	19.0%
14 地震の時に避難する場所を決めている		104	34.1%
15 家族が離ればなれになったとき落ち合う場所を決めている		57	18.7%
16 自宅や勤め先付近の安全な避難路を確認している		59	19.3%
17 幼稚園、小学校の児童の引き取り方法を決めている		42	13.8%
18 感震ブレーカー（揺れを感知して電気を止める器具）を設置している		35	11.5%
19 外出時には、携帯電話等の予備電池を携帯している		74	24.3%
20 防災アプリをダウンロードしている		131	43.0%
21 その他		8	2.6%

問8 非常持出品として何を用意していますか。(複数回答可)

備え編

問8 (複数回答可)	n = 955	人	%
1 携帯ラジオ		524	54.9%
2 懐中電灯		812	85.0%
3 予備の乾電池		469	49.1%
4 ヘルメット・防災頭巾		365	38.2%
5 非常食		575	60.2%
6 飲料水		633	66.3%
7 ティッシュペーパー・トイレットペーパー		560	58.6%
8 スプーン・はし・カップ		347	36.3%
9 下着・くつ下・着替え		269	28.2%
10 救急薬品・常備薬		339	35.5%
11 お薬手帳		188	19.7%
12 タオル		391	40.9%
13 軍手・手ぶくろ		483	50.6%
14 現金		299	31.3%
15 雨具		265	27.7%
16 毛布又は寝袋		206	21.6%
17 ビニール袋		336	35.2%
18 筆記用具・ノート		222	23.2%
19 ライター・マッチ		223	23.4%
20 ナイフ・缶切り		177	18.5%
21 生理用品・おむつ		177	18.5%
22 くつ・スリッパ		198	20.7%
23 携帯電話のバッテリー充電器		263	27.5%
24 カセットコンロ		253	26.5%
25 その他		55	5.8%

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

問8 (複数回答可)	n = 650	人	%
1 携帯ラジオ		367	56.5%
2 懐中電灯		551	84.8%
3 予備の乾電池		309	47.5%
4 ヘルメット・防災頭巾		250	38.5%
5 非常食		372	57.2%
6 飲料水		431	66.3%
7 ティッシュペーパー・トイレットペーパー		380	58.5%
8 スプーン・はし・カップ		227	34.9%
9 下着・くつ下・着替え		175	26.9%
10 救急薬品・常備薬		212	32.6%
11 お薬手帳		130	20.0%
12 タオル		258	39.7%
13 軍手・手ぶくろ		322	49.5%
14 現金		201	30.9%
15 雨具		166	25.5%
16 毛布又は寝袋		125	19.2%
17 ビニール袋		214	32.9%
18 筆記用具・ノート		137	21.1%
19 ライター・マッチ		134	20.6%
20 ナイフ・缶切り		105	16.2%
21 生理用品・おむつ		112	17.2%
22 くつ・スリッパ		126	19.4%
23 携帯電話のバッテリー充電器		156	24.0%
24 カセットコンロ		161	24.8%
25 その他		33	5.1%

インターネット調査

問8 (複数回答可)	n = 305	人	%
1 携帯ラジオ		157	51.5%
2 懐中電灯		261	85.6%
3 予備の乾電池		160	52.5%
4 ヘルメット・防災頭巾		115	37.7%
5 非常食		203	66.6%
6 飲料水		202	66.2%
7 ティッシュペーパー・トイレットペーパー		180	59.0%
8 スプーン・はし・カップ		120	39.3%
9 下着・くつ下・着替え		94	30.8%
10 救急薬品・常備薬		127	41.6%
11 お薬手帳		58	19.0%
12 タオル		133	43.6%
13 軍手・手ぶくろ		161	52.8%
14 現金		98	32.1%
15 雨具		99	32.5%
16 毛布又は寝袋		81	26.6%
17 ビニール袋		122	40.0%
18 筆記用具・ノート		85	27.9%
19 ライター・マッチ		89	29.2%
20 ナイフ・缶切り		72	23.6%
21 生理用品・おむつ		65	21.3%
22 くつ・スリッパ		72	23.6%
23 携帯電話のバッテリー充電器		107	35.1%
24 カセットコンロ		92	30.2%
25 その他		22	7.2%

問9-1 あなたは、地域の自主防災会の活動に参加していますか。(回答数は1つ)
 (※新型コロナウイルス感染防止のため、活動を休止している場合は、2を選択してください。)

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
 モニターアンケート

インターネット調査

問9 (回答数1)	n = 955	人	%
1 参加している		371	38.8%
2 参加していない		541	56.6%
3 地域において自主防災会としての活動がない		43	4.5%

問9 (回答数1)	n = 650	人	%
1 参加している		248	38.2%
2 参加していない		371	57.1%
3 地域において自主防災会としての活動がない		31	4.8%

問9 (回答数1)	n = 305	人	%
1 参加している		123	40.3%
2 参加していない		170	55.7%
3 地域において自主防災会としての活動がない		12	3.9%

問9-2 あなたは、どのような形で活動に参加していますか。(回答数は1つ)

※問9-1で地域の自主防災会の活動に参加していると回答した人が対象

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問9-2 (回答数1)	n=371	人	%
1 会長や副会長、防災委員など、自主防災組織の役員として参加している		40	10.8%
2 役員以外の自主防災組織内で定まった役割(消火班、避難誘導班など)で参加している		59	15.9%
3 自主防災組織内で定まった役割はないが、防災訓練など何らかの活動に参加している		272	73.3%

問9-2 (回答数1)	n=248	人	%
1 会長や副会長、防災委員など、自主防災組織の役員として参加している		27	10.9%
2 役員以外の自主防災組織内で定まった役割(消火班、避難誘導班など)で参加している		37	14.9%
3 自主防災組織内で定まった役割はないが、防災訓練など何らかの活動に参加している		184	74.2%

問9-2 (回答数1)	n=123	人	%
1 会長や副会長、防災委員など、自主防災組織の役員として参加している		13	10.6%
2 役員以外の自主防災組織内で定まった役割(消火班、避難誘導班など)で参加している		22	17.9%
3 自主防災組織内で定まった役割はないが、防災訓練など何らかの活動に参加している		88	71.5%

問9-3 あなたは地区の自主防災会の活動をどう思いますか。理由とともにお答えください。（回答数は1つ）

※問9-1で地域の自主防災会の活動に参加していると回答した人が対象

備え編

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問9-3（回答数1）	n=371	人	%
1 活発である		48	12.9%
2 まあまあ活発である		195	52.6%
3 あまり活発でない		91	24.5%
4 活発ではない		21	5.7%
5 わからない		16	4.3%

問9-3（回答数1）	n=248	人	%
1 活発である		32	12.9%
2 まあまあ活発である		134	54.0%
3 あまり活発でない		61	24.6%
4 活発ではない		10	4.0%
5 わからない		11	4.4%

問9-3（回答数1）	n=123	人	%
1 活発である		16	13.0%
2 まあまあ活発である		61	49.6%
3 あまり活発でない		30	24.4%
4 活発ではない		11	8.9%
5 わからない		5	4.1%

【活発な理由】（抜粋）

参加者の固定化は見られるが、定期的に活動している
 公民館活動の中に組み込まれていて、AEDの使い方や担架の作り方など近所の人と交流しながら学べるようになってきているから。
 多くの住民が参加しているが、全員が危機意識をもって参加できていないように思われる。義務的な感じ。
 コロナ禍で規模縮小になってしまっているが、訓練は実施している。
 消防団もあり、子供達も地域防災訓練に参加している
 小・中学生はほぼ強制参加ではあるが、親も活動に参加しやすい
 上の世代が頑張ってる
 市民が積極的
 年に一度訓練をしている
 さまざまな内容の訓練を実施している。
 田舎だから
 防災訓練の参加率が高い
 毎年避難訓練を実施している
 年に一度全戸訓練している。防災委員が各組にいる。
 防災意識が高いから
 訓練の際、避難所までの距離や危険な場所を確認しながら歩いた
 隣組の付き合いが、あるので
 地震が多い地球なもので意識は高いと思います。
 定期的に実施されているから
 役員の参加率も高く、訓練も役割分担を明確にして実施しているから。
 毎年行う防災訓練には老若男女問わずかなりの人数が参加し災害時の対策を確認し合っている。

【活発でない理由】（抜粋）

新型コロナで制限されていて、十分に出来ていない。
 決まりきった訓練のみなので
 仕事をしている人がほとんどなので仕事と家庭、自主防災組織を両立させているため。
 形ばかりなものである
 高訓練内容は年1回、内容もマンネリ化している。
 年に1回しか訓練をしていない
 過去にやっていることが多いので。
 なんとなくあなあと終わってしまう
 集合住宅に住んでいる為、情報がない。
 避難にだらだらしている
 回数が少なく、事務的な雰囲気を実施されてるから。
 参加人数が少ない
 時間を取られるのが嫌だから
 年に一度ほどの避難訓練でさえも参加しない。自分もしなくなった。
 構成世帯数が少なく高齢化しており、あまり活発ではない。
 転居先で地域に根付いていないので、よくわからない。
 新型コロナの影響あり
 参加しない人も多い
 参加者が少ない
 役員が活動する形で、固定化されている。
 一人一人の意識の問題

問10 自主防災活動を活性化するには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）

備え欄

令和3年度第13回県政インターネット
モニターアンケート

インターネット調査

問10（複数回答可）	n = 955	人	%
1 女性の参加		181	19.0%
2 訓練内容の工夫		567	59.4%
3 訓練の機会を増やす		314	32.9%
4 中高生等若い世代の参加		447	46.8%
5 その他		64	6.7%
6 わからない		102	10.7%

問10（複数回答可）	n = 650	人	%
1 女性の参加		124	19.1%
2 訓練内容の工夫		391	60.2%
3 訓練の機会を増やす		212	32.6%
4 中高生等若い世代の参加		290	44.6%
5 その他		38	5.8%
6 わからない		66	10.2%

問10（複数回答可）	n = 305	人	%
1 女性の参加		57	18.7%
2 訓練内容の工夫		176	57.7%
3 訓練の機会を増やす		102	33.4%
4 中高生等若い世代の参加		157	51.5%
5 その他		26	8.5%
6 わからない		36	11.8%